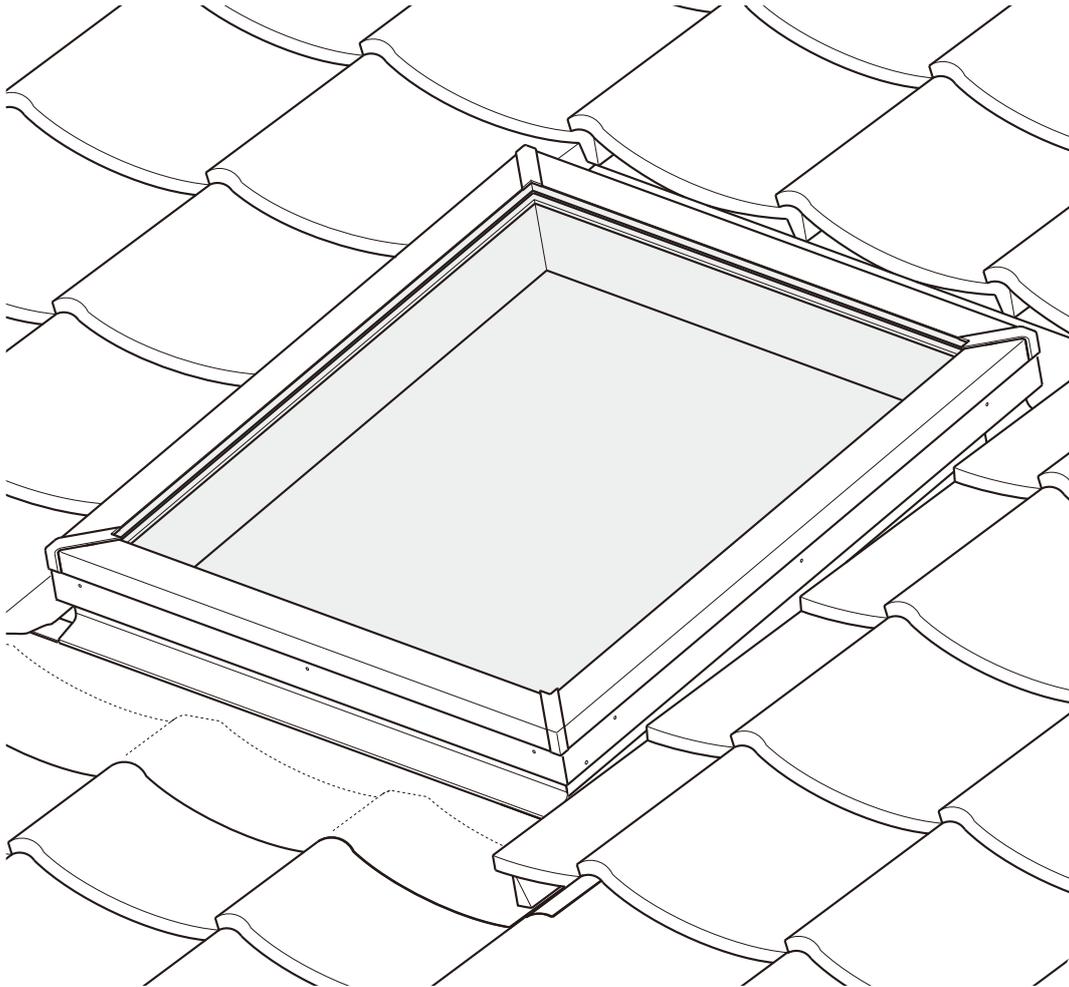


スカイシアターシリーズ

施工説明書



取付けにあたって

- この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく施工していただくための、組立ておよび施工について、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、施工してください。

目次

■安全上のご注意	2・3
■工事店さま用	4～7
●梱包部品一覧表	4
●開口部の製作	4・5
●配線用の切欠き(TT電動型)	5
●本体の取付け	5・6
●開閉用リング・ハンドルの取付け(TT型)	6・7
■屋根工事店さま用	8～14
●ルーフィングの張付け	8・9
●コロニアル用水切りセット(別途有償品)の取付け	9～11
●瓦・厚瓦用水切りセット(別途有償品)の取付け	12～14
■板金屋根工事店さま用	15～18
●ルーフィングの張付け	15
●簡単施工部材の取付け	15
●ジャンプ台および板金屋根の施工	15～18
■納まり図	19・20
■商品保証について	21

安全上のご注意

●この説明書は必ず取付けされる方(工事店さま・屋根工事店さま)にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、その危険の程度から「警告」および「注意」の2つに分けて示しています。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲警告

- 浴室など湿気の多い場所への電動タイプの取付けは、絶対におやめください。感電や故障の原因となります。
- 開閉用リング、手動ハンドル、非常用リングの外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品の取付けは、必ず指定のねじで取付けてください。
 - ・開閉用リング、手動用ハンドル、非常用リング穴とオペレーター、ベースバータップ穴の穴位置を合わせ固定してください。
 - ・本製品の取付けは2.5～3.0N・mのトルクで締め付けてください。

▲注意

【共通】

- 商品重量が最大約50kgとなりますので、運搬・取付けの際は、相当する人数で作業を行ってください。思わぬケガにつながるおそれがあります。
- 取付け可能な屋根勾配11°～60°(2寸勾配～17.5寸勾配)を外れての取付けはおやめください。結露水の室内への落下、雨漏り、開閉不良(電動・手動タイプ)の原因となります。
- オプションの瓦・厚瓦用水切りを使用する場合は開口部の軒側端部と瓦棧の距離が120mm～150mmの間に納まるようにしてください。また、水切り部に水がたまらないようにエプロン受け台を取付け、軒側瓦の端部を面取りしてください。雨漏りの原因となります。

▲ 注 意

【工事店さま】

- 野地板開口部補強の取付けは製品重量を参考にして、補強を行ってください。本体の脱落や屋根の変形による雨漏り、開閉不良(電動・手動タイプ)の原因となります。
- 必ず指定のねじ、アングルを指示数・指示場所に取付けてください。本体が脱落するおそれがあります。
- 網戸は、ゆるみ・ガタツキのないように取付けてください。網戸が落下し、ケガを負うおそれがあります。
- 枠と野地板のすき間をシーリング処理してください。気密性能が低下し、内部結露の原因となるおそれがあります。

■製品重量(kg)

	03103	12903	05405	06905	09905	12905	05408	06908	12908	09911	03112	06912
TF型	9	25	16	19	25	32	23	30	50	52	23	44
TT手動型	—	—	19	22	—	—	26	33	54	56	—	47
TT電動型	—	—	20	24	—	—	28	34	55	57	—	48

【屋根工事店さま】

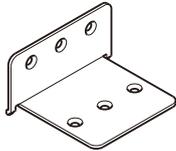
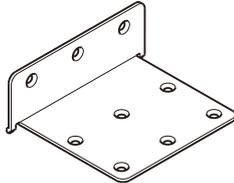
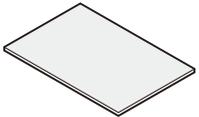
- 本体のコーナー部は、本説明書にしたがってルーフィングのコーナーが重なるように処理してください。雨漏りの原因となります。
- コーナーブチルの張付けは、ピンホールができないように角部まで押付けてください。雨漏りの原因となります。
- 開口部の軒側端部からコロニアル取付け釘穴までの距離は必ず100mm以内にしてください。釘穴より雨漏りの原因となります。
- 瓦棧の高さは15mm～18mmのものを使用してください。水切りの納まりが悪くなり、雨漏りの原因となります。
- スカートは組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先に付けるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなり雨漏りの原因となります。
- 瓦・厚瓦用水切りを使用する場合、軒側水切りのエプロン裏面のリケイ紙をはがしてから、瓦の形状になじませてください。また、強くたたいたり引っ張ったりしてエプロンに穴をあけないでください。穴があいた場合は交換してください。雨漏りの原因となります。
- エプロンとドライ面戸のすき間のシーリングを必ず実施してください。雨漏りの原因となります。
- 瓦の施工時には、本体と棟側瓦の間を100mm～130mmあけて、本体縦側と瓦の間は、50mm～80mmあけてください。雨漏りの原因となります。

■施工上のお願ひ

- 施工時、本体を屋根の上に置く場合は熱がこもらないように日陰に置くか、カバーを掛けてください。ガラス温度が上昇して割れることがあります。
- 本体取付け後、すぐに屋根工事にかかれなない場合は、枠および電動部品(電動タイプ)に雨が当たらないよう養生してください。
- 施工は必ず標準施工にしてください。オプションの水切りが取付かなくなります。
- 本体の取付け方向を間違えないようにご注意ください。取付けの際は、棟側枠の表示をご確認ください。
- 寒冷地における施工の場合は、施工要領例を参考にしてください。
- TT手動型本体をダンボールから取出し、地面等に置く場合は、オペレーター開閉用リングの軸が直接地面に接しない様にしてください。また、オペレーター開閉用リングを取付けした後も同様に行ってください。

工事店さま用

■梱包部品一覧表

名称	固定アングル		取付けねじ 皿タッピンねじφ4×30(1種)		コーナープチル	
	小	大				
姿図						
入数	機種	右記以外の機種	12905・12908・09911・06912	右記以外の機種	12905・12908・09911・06912	4枚
		4個	5個	24本	45本	

■開口部の製作

■機種別開口

(単位mm)

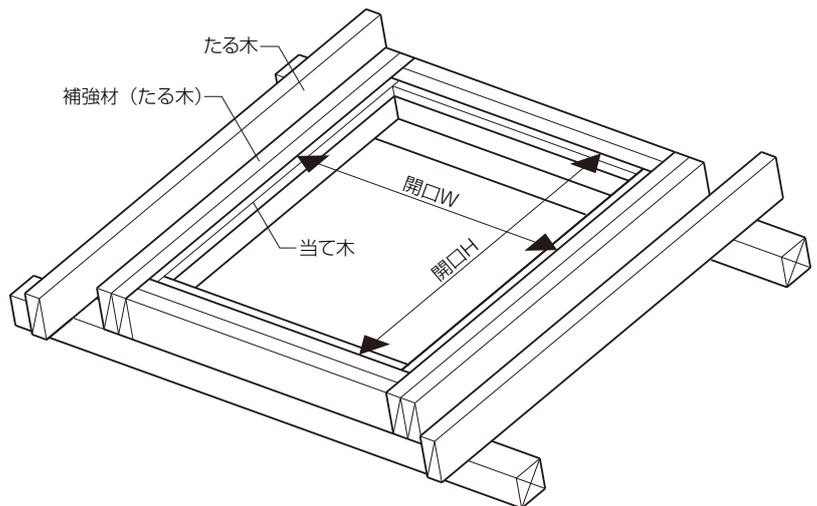
H×W	呼称	03103	12903	05405	06905	09905	12905	05408	06908	12908	09911	03112	06912
開口H		450	450	600	600	600	600	900	900	900	1200	1350	1350
開口W		415	1390	640	790	1090	1390	640	790	1390	1090	415	790

1 野地板開口部補強材の取付け

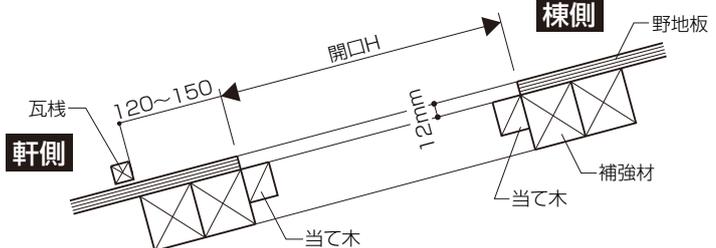
- 当て木を野地板表面より12mmさがった位置に取付けます。
- 内装ボードの厚みに合わせて、当て木の幅を調整してください。

▲注意

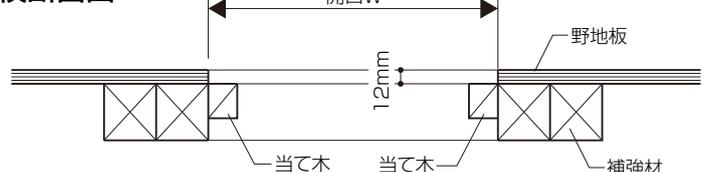
- 野地板開口部補強の取付けは製品重量を参考にして、補強を行ってください。本体の脱落や屋根の変形による雨漏り、開閉不良(電動・手動タイプ)の原因となります。
- オプションの瓦・厚瓦を使用する場合は、開口の軒側端部と瓦棧の距離が120mm～150mmとなる取付け位置を設定してください。雨漏りの原因となります。



■縦断面図

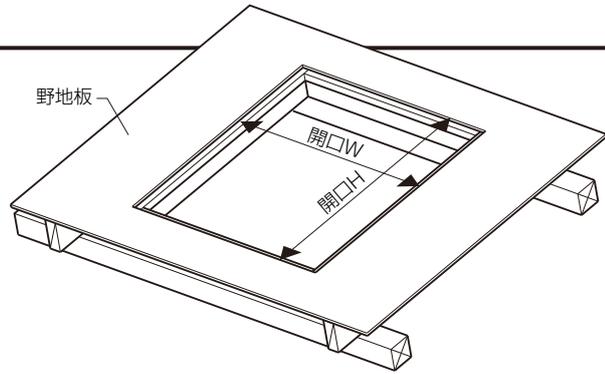


■横断面図



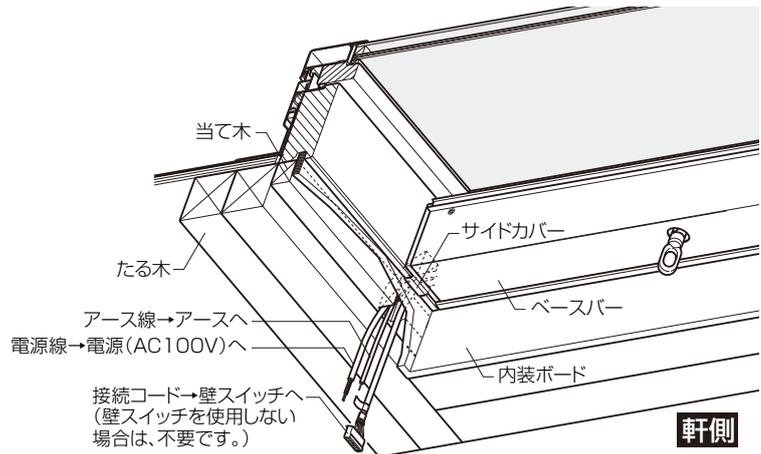
2 野地板の施工

●右図のように野地板を取付けます。



■配線用の切欠き(TT電動型)

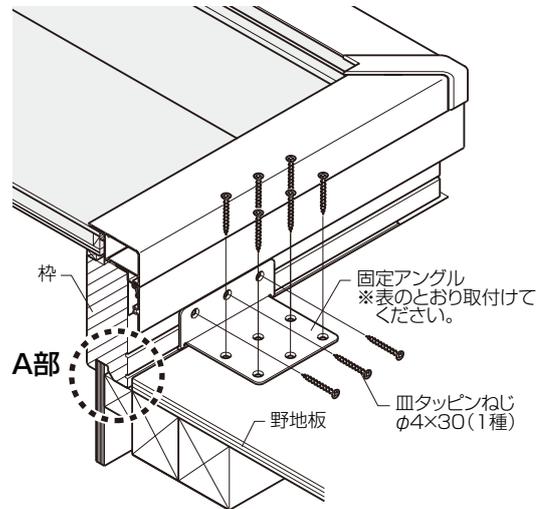
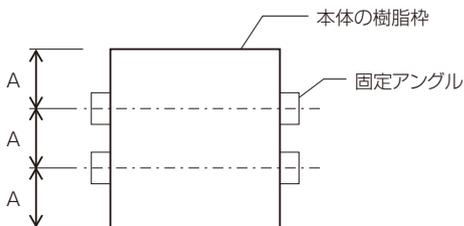
- ①TT型電動タイプを設置する場合、配線工が必要となります。サイドカバーより接続コード、電源線ならびにアース線を取り出します。
- ②当て木に必要な応じた切欠きを入れ、配線工事を行ってください。



■本体の取付け

1 本体枠の固定アングル取付け

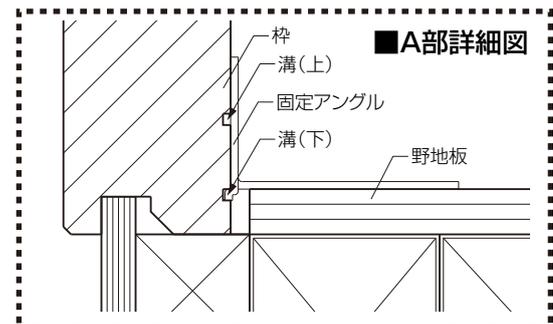
- 枠の下側の溝に固定アングル（同梱）の下端を差込みます。固定アングルは、本体に対して A 寸法が均等な位置になる様に配置してください。
例) 06908 の場合



寒冷地でオプションの水切りを使用せず断熱性能を向上させたい場合は上側の溝に差込みます。
この時、固定アングルは、スカートの取外しを行った後、皿タッピンねじで本体に固定してください。
※スカートの取外し方については、2 スカートの取外しをご覧ください。

■固定アングル取付け数(呼称)

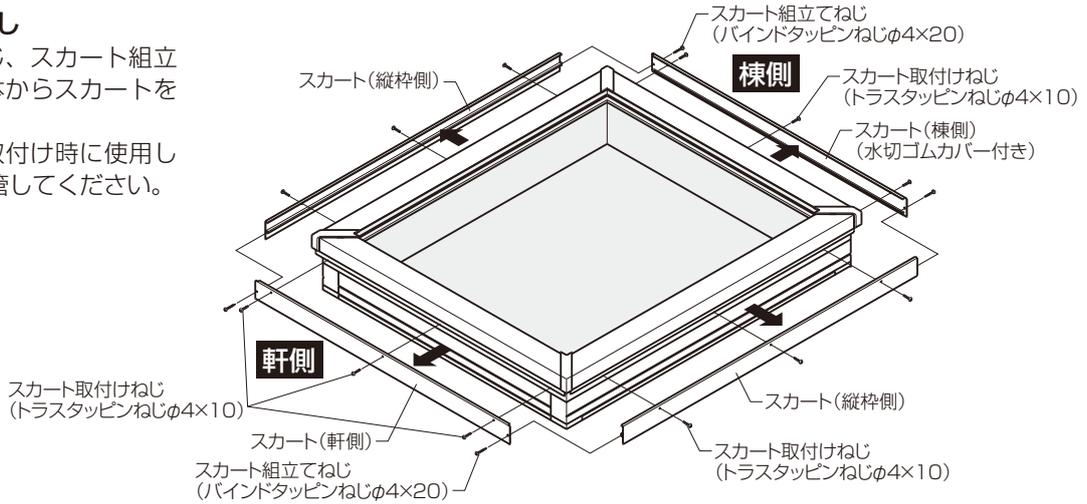
TF型: 12903	上下4カ所	
T F i T 型	12908・09911・06912・12905	左右4カ所と軒側1カ所
	06908・06905・05408・05405	左右4カ所
TF型: 03103	上下・左右4カ所	



2 スカートの取外し

●スカートを取付けねじ、スカート組立てねじを外し、本体からスカートを取外します。

※スカート、ねじは取付け時に使用しますので、大切に保管してください。

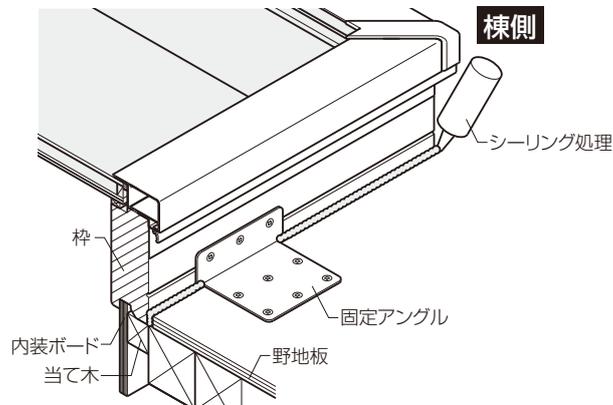


3 躯体への取付け

- ①本体を屋根に上げ、開口に落とし込みます。
- ②上下左右のチリおよび対角を均等に調整し、固定アングルを野地板に取付けます。
- ③右図のように、枠と野地板のすき間をシーリング処理して埋めてください。

▲ 注意

●気密性確保のため、必ず枠と野地板のすき間をシーリング処理してください。結露発生の原因となります。



■開閉用リング・ハンドルの取付け(TT型)

【手動タイプ】

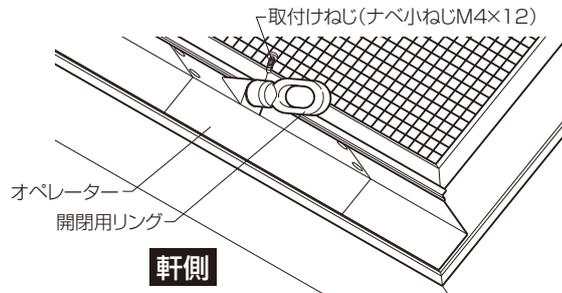
●開閉用リング（オペレーターに付属）または手動用ハンドル（別途有償品）をオペレーターのシャフトに差し込み、ねじ止めしてください。

▲ 警告

●本製品の取付けは、必ず指定のねじで取付けてください。開閉用リング、手動用ハンドルの外れ・落下の原因になります。

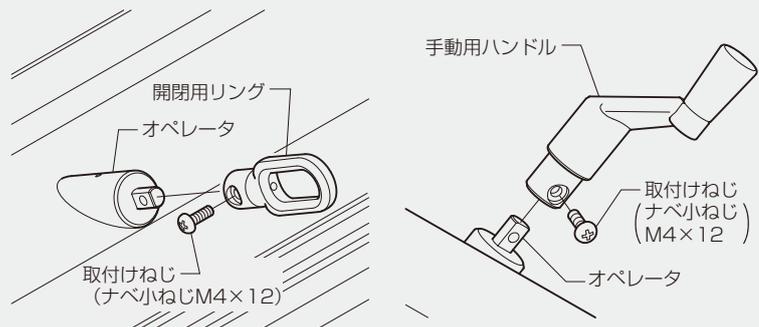
▲ 警告

●本製品の取付けは2.5～3.0N・mのトルクで締め付けてください。開閉用リング、手動用ハンドルの外れ・落下の原因になります。



▲ 警告

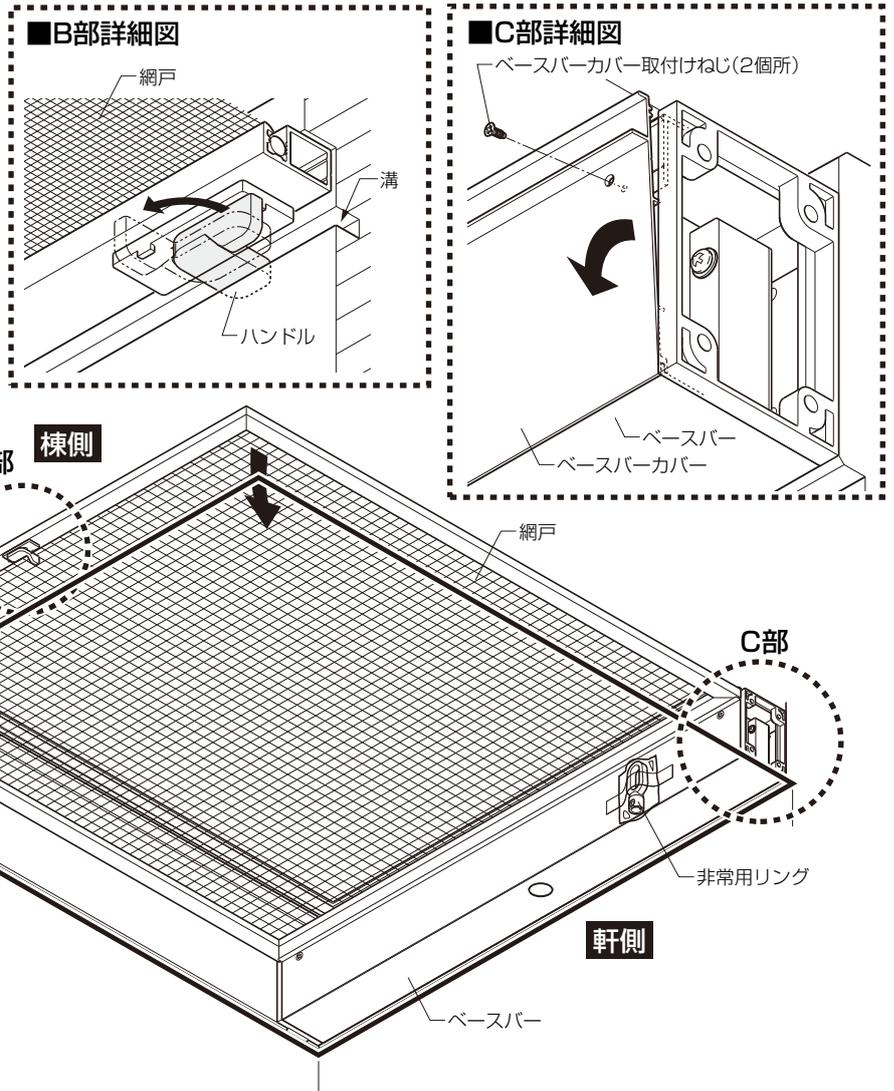
●開閉用リング、手動用ハンドル穴とオペレータータップ穴の穴位置を合わせ固定してください。開閉用リング、手動用ハンドルの外れ・落下の原因になります。



【電動タイプ】

※電動タイプの場合は網戸を外し、ベースバーカバーを取外して非常用リングを取付けてください。

- ①「B部詳細図」のように、つまみを回して網戸を外します。
- ②「C部詳細図」のようにベースバーカバー取付けねじを外し、ベースバーカバーを取外してから非常用リングを同梱のねじで止めてください。
- ③逆の手順でベースバーカバーを取付け、網戸を戻してください。



▲ 警告

- 本製品の取付けは、必ず指定のねじで取付けてください。非常用リングの外れ・落下の原因になります。

▲ 警告

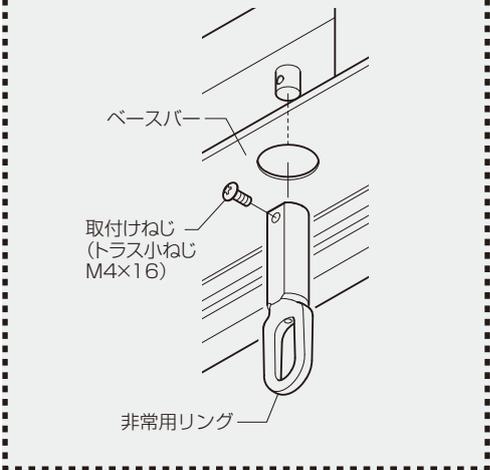
- 本製品の取付けは2.5～3.0N・mのトルクで締め付けてください。非常用リングの外れ・落下の原因になります。

▲ 注意

- 取付けの際は、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。網戸が落下しケガをするおそれがあります。

▲ 警告

- 非常用リング穴とベースバータップ穴の穴位置を合わせ固定してください。非常用リングの外れ・落下の原因になります。

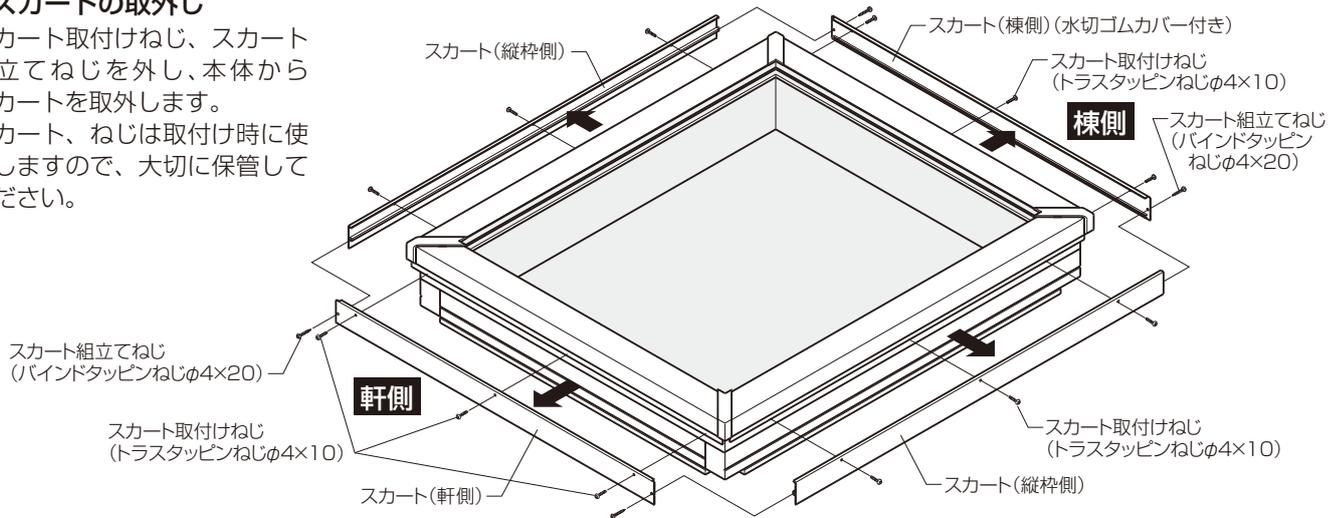


屋根工事店さま用

■ルーフィングの張付け

1 スカートの取外し

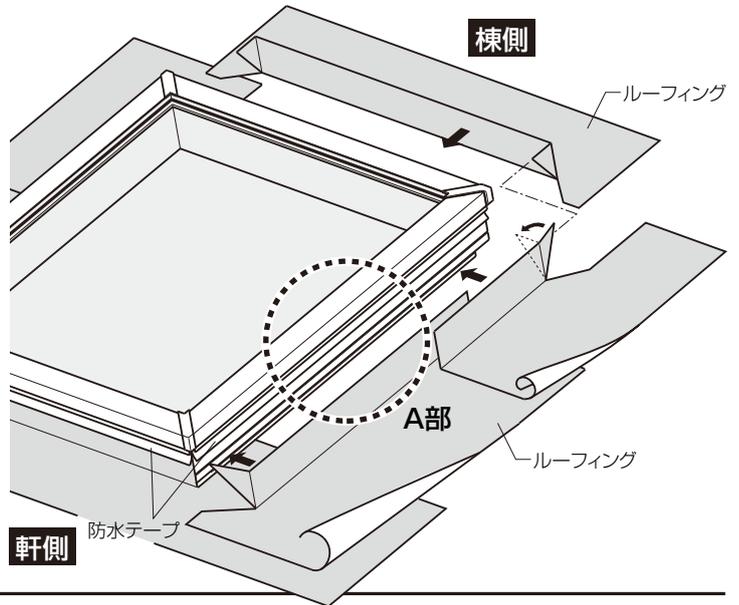
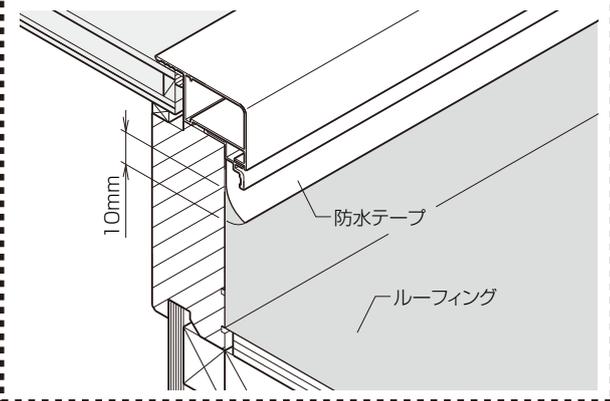
- スカート取付けねじ、スカート組立てねじを外し、本体からスカートを取外します。
- ※スカート、ねじは取付け時に使用しますので、大切に保管してください。



2 ルーフィングの張付け

- ①本体に付いている防水テープをめくり、防水テープの内側まで10mm以上重なるように、ルーフィング(屋根下地)を立ち上げてください。

■A部詳細図

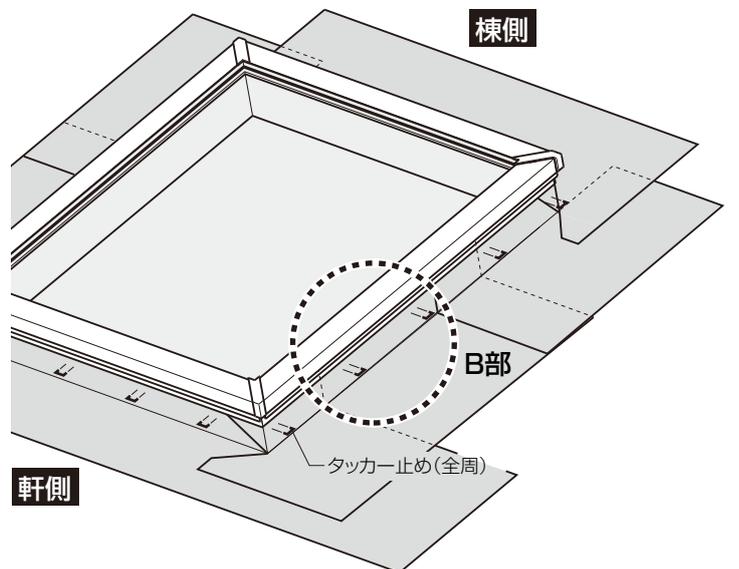
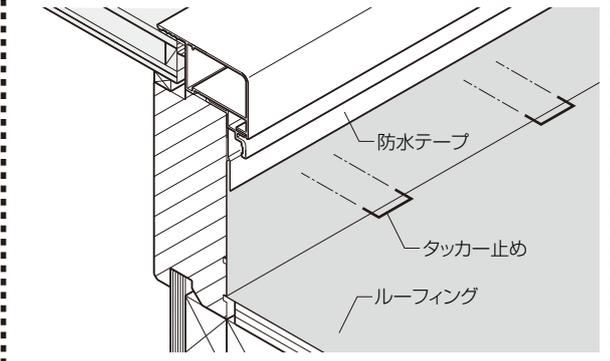


- ②立ち上げたルーフィングは、枠へタッカー止めしてください。

▲注意

- 必ずルーフィングのコーナーが重なるように処理してください(右図参照)。雨漏りの原因になります。

■B部詳細図



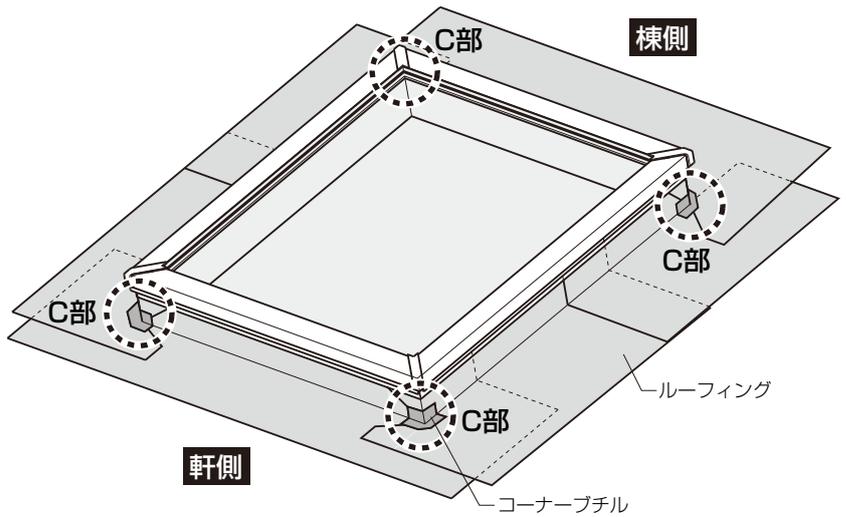
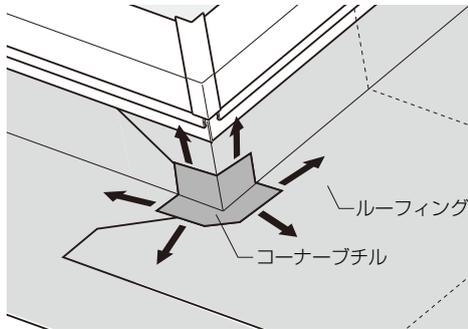
3 コーナーブチル（付属品）の張付け

●コーナーブチルを本体の四隅に張付けます。

▲注意

●ピンホールができないように角部まで押付けてください。

■C部詳細図



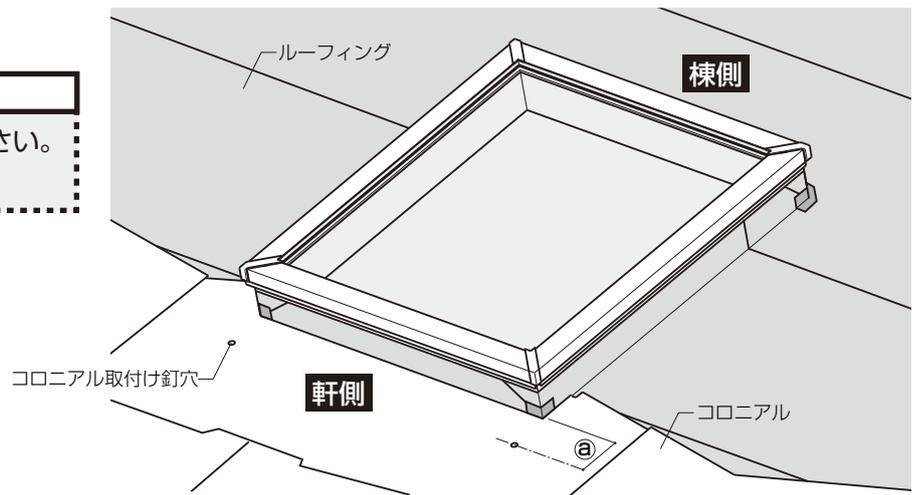
■コロニアル用水切りセット(別途有償品)の取付け

1 軒側コロニアルの施工

●軒側にコロニアルを取付けます。

▲注意

●①寸法は100mm以内にしてください。
釘穴より雨漏りの原因となります。

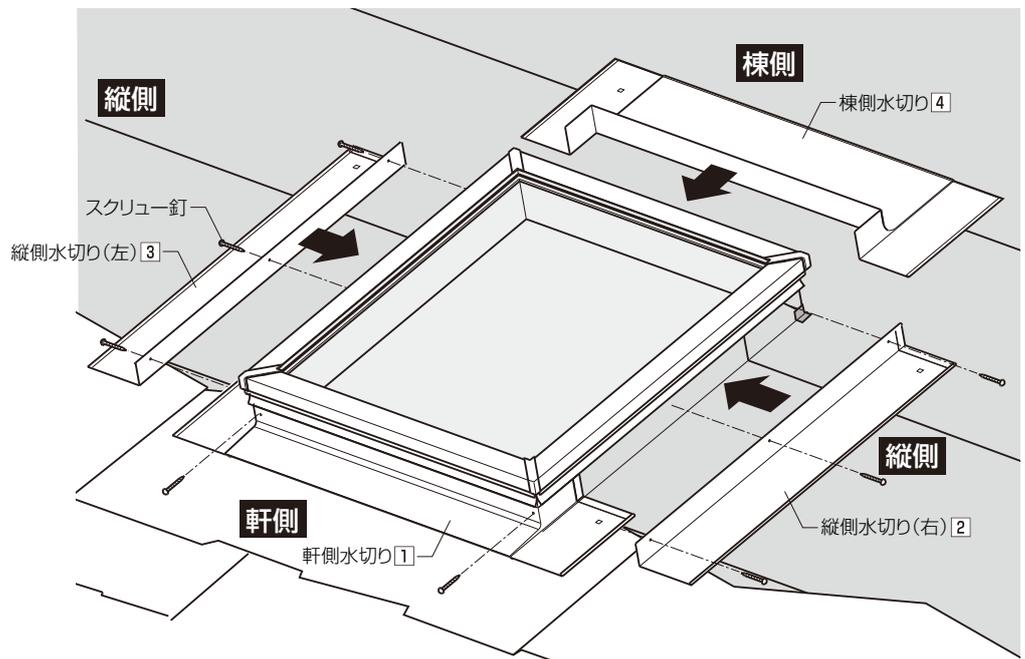


2 水切りセットの取付け

●本体の防水テープをめくり、水切りセットを右図のように部材番号印の番号順に取付けます。

軒側・棟側水切りは、天窗本体と左右のチリを合わせて、軒側・棟側面をスクリュー釘で固定してください。

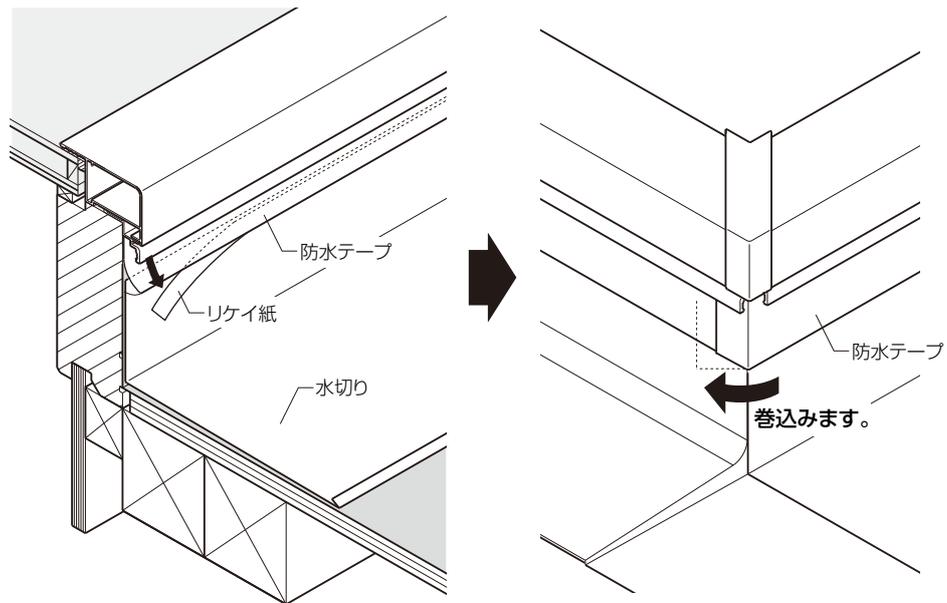
棟側の水切りは、その後、縦側を同様にスクリュー釘で固定してください。



3 本体防水テープの張付け

●2と同じ順番で本体防水テープのリケイ紙をはがして、水切りとすき間のないように張付けます。

端部のはみ出しは、巻込むように重ねて張ってください。

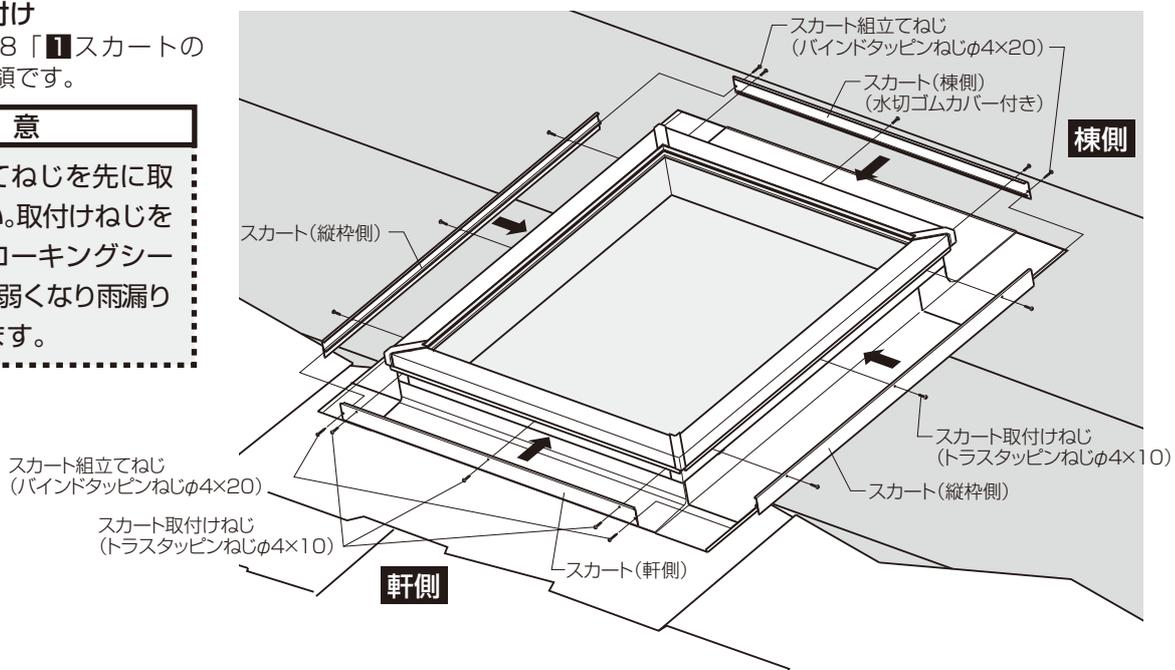


4 スカートの取付け

※取付け手順は、P8「1 スカートの取外し」の逆の要領です。

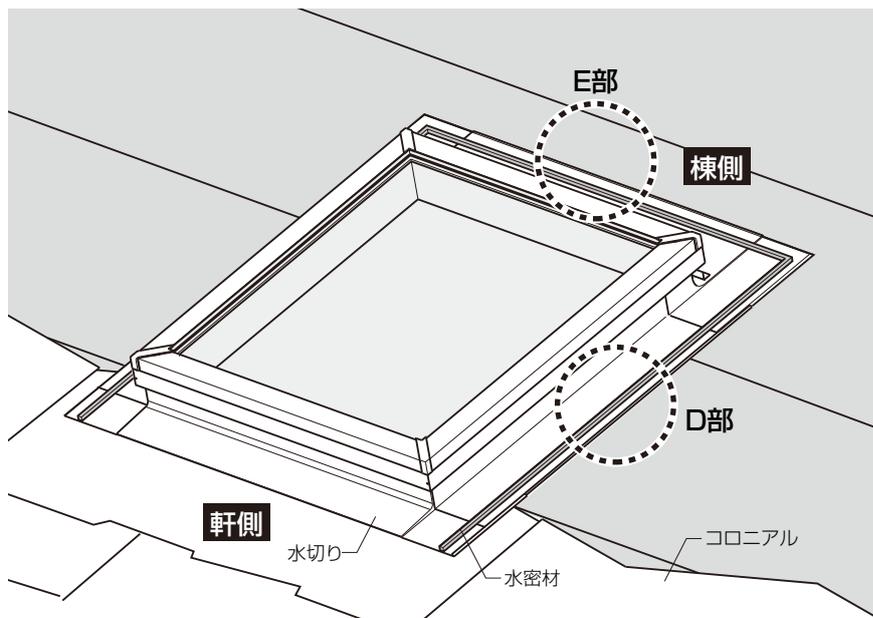
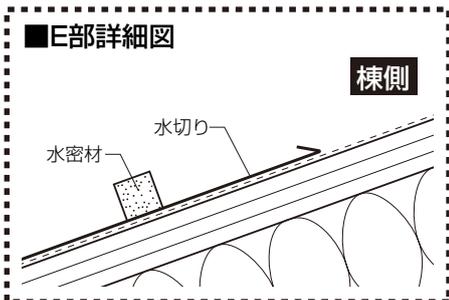
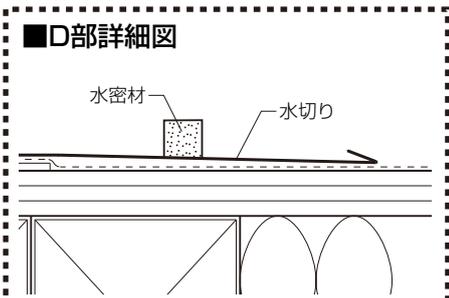
▲注意

●スカート組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先に付けるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなり雨漏りの原因となります。



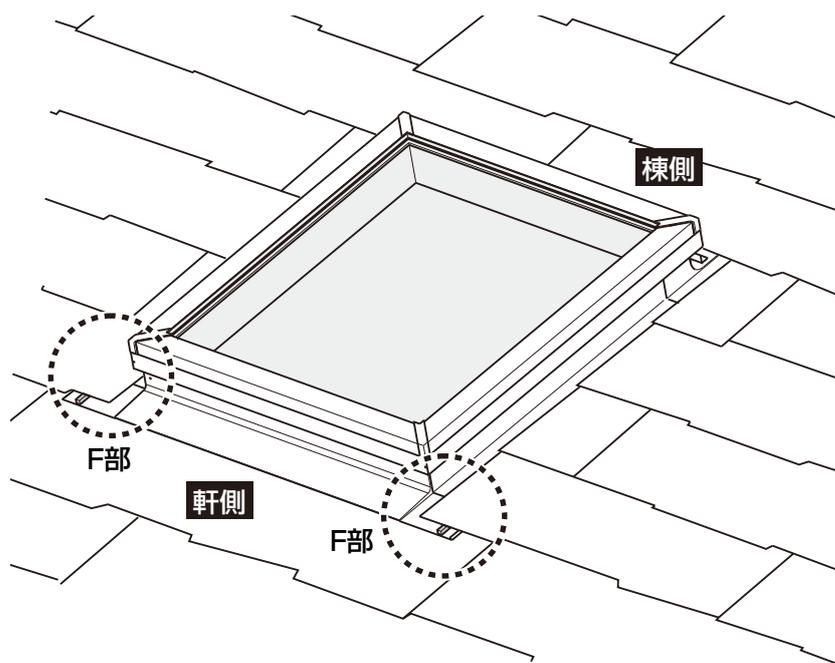
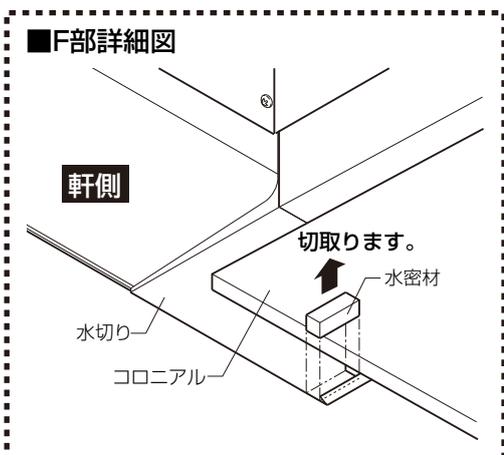
5 水密材の取付け

- 水切りの三方（棟側・左右縦側）に水密材を張付けます。



6 コロニアル(ストレート瓦)のふき上げ

- 軒側より順にコロニアルをふき、余分な水密材は切取ってください。



■瓦・厚瓦用水切りセット(別途有償品)の取付け

1 瓦棧の取付け

- 瓦棧①～③(別途手配)を取付けます。
瓦棧と本体縦枠は排水性確保のため、すき間を10mmとってください。
- 本体と瓦の間(◎寸法部)にエプロンがへこんで穴があかないように、エプロン受け台(別途手配)を取付けてください。

▲注意

- 瓦棧の高さは15mm～18mmのものを使用してください。水切りの納まりが悪くなり、雨漏りの原因となります。

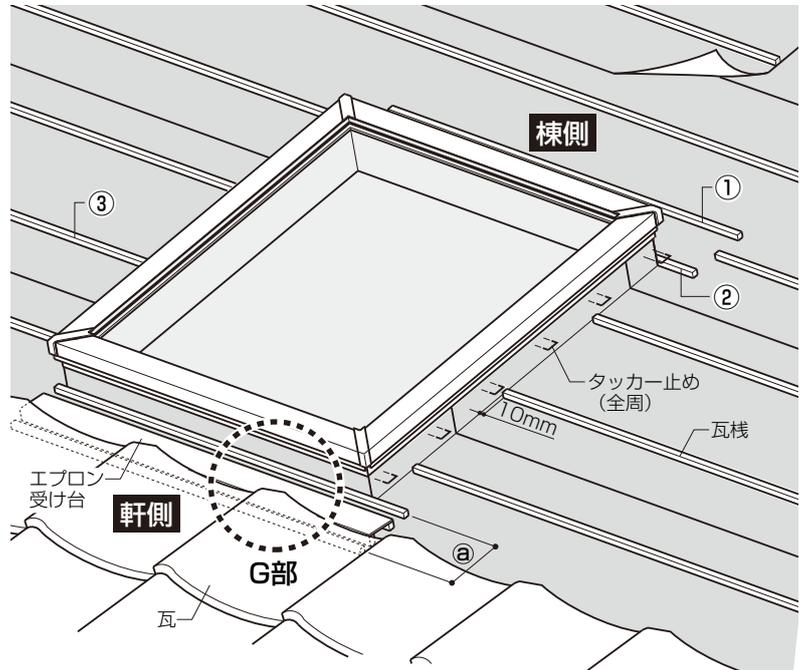
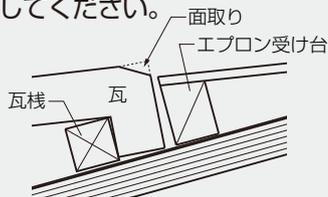
2 軒側瓦の施工

- 軒側に瓦を設置します。

▲注意

- 右図◎寸法は、120mm～150mmで取付けて、水切り部に水がたまらないようにエプロン受け台を取付け、軒側瓦の端部を面取りしてください。

■G部詳細図

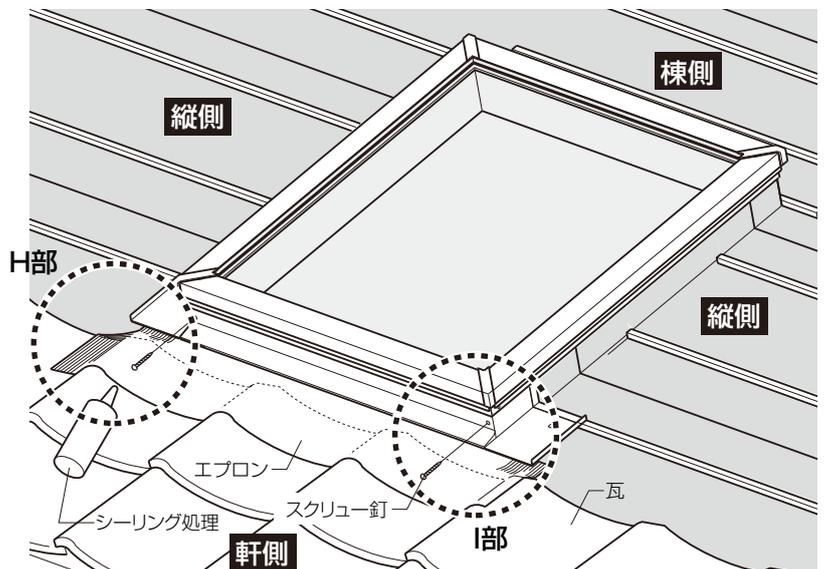
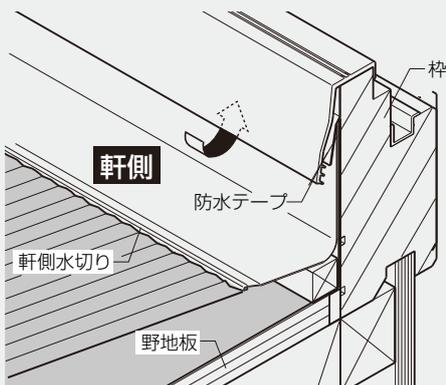


3 軒側水切りの取付け

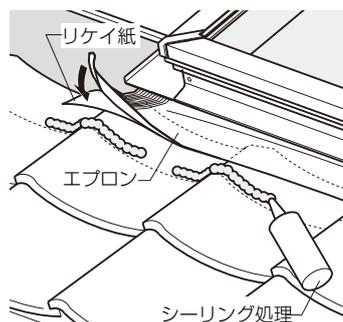
- ①天窓本体と軒側水切りの左右のチリを合わせて、スクリー釘で取付けます。
- ②エプロンをめくり裏面のリケイ紙をはがしてください。エプロンの先端部をシーリング(別途手配)処理をしてください。(H部詳細図参照)
- ③エプロンを瓦の形状になじませます。(I部詳細図参照)

▲注意

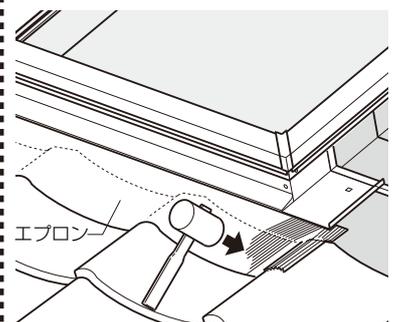
- エプロン裏面のリケイ紙をはがしてから瓦の形状になじませてください。
- 強くたたいたり、引っ張ったりしてエプロンに穴をあけないでください。穴があいた場合は、交換してください。



■H部詳細図



■I部詳細図

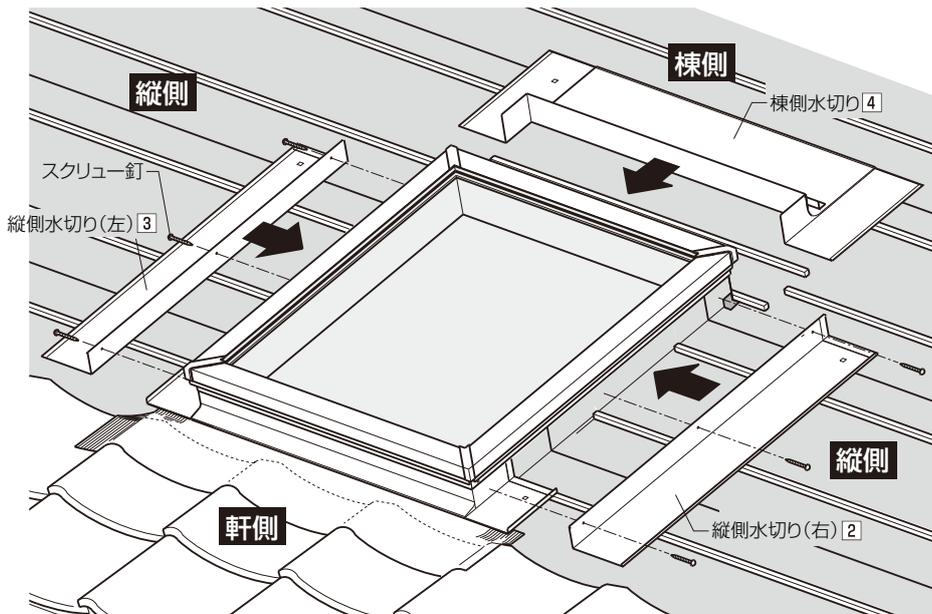


4 縦側・棟側水切りの取付け

●軒側水切り取付け後、右図のように防水テープをめくって縦側と棟側水切りを取付けます。

(釘で固定します。)

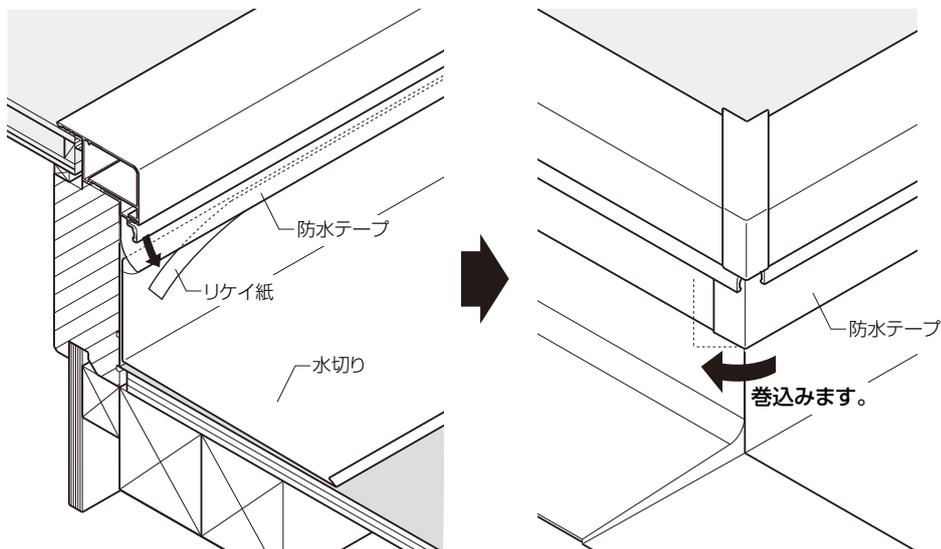
※縦側水切りを先に取付けてください。棟側水切りは、天窗本体と左右のチリを合わせて、棟側面をスクリー釘で固定した後、縦側を同様にスクリー釘で固定してください。



5 本体防水テープの張付け

●本体防水テープのリケイ紙を水切りの取付け順序と同じ番号順ではがし、水切りとすき間のないように張付けます。

端部のみ出しは、巻込むように重ねて張ってください。

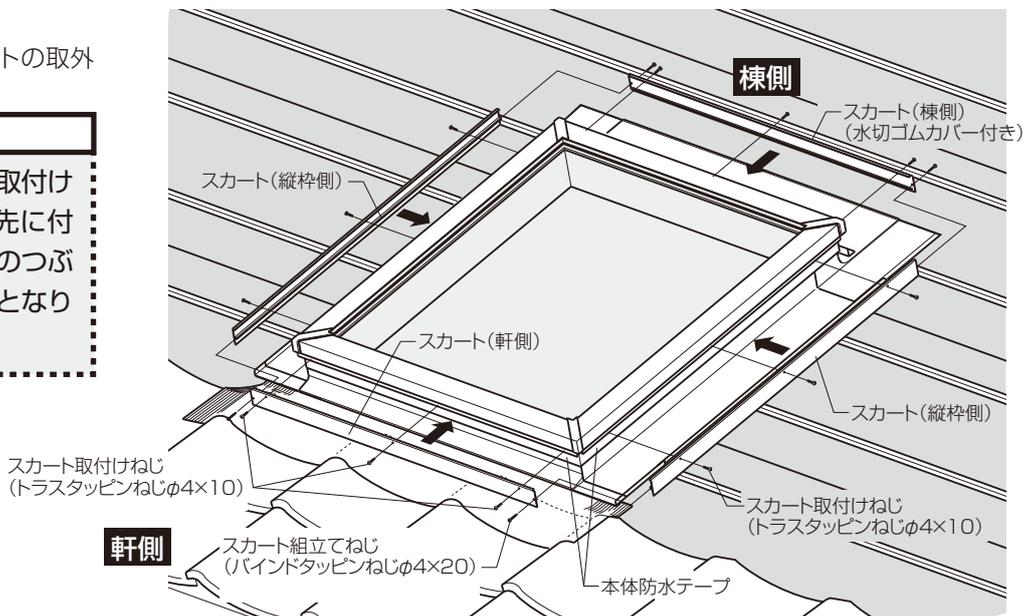


6 スカートの取付け

※取付け手順は、P6「2 スカートの取外し」の逆の要領です。

▲注意

●スカート組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先に付けるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなり雨漏りの原因となります。



7 ドライ面戸の取付け

●水切りの三方（棟側、左右縦側）にドライ面戸を取付けます。

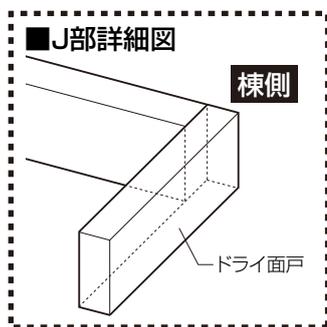
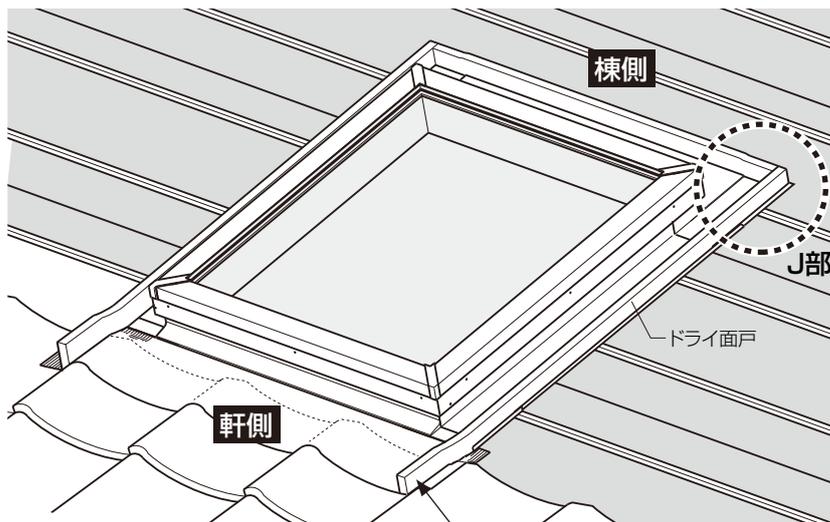
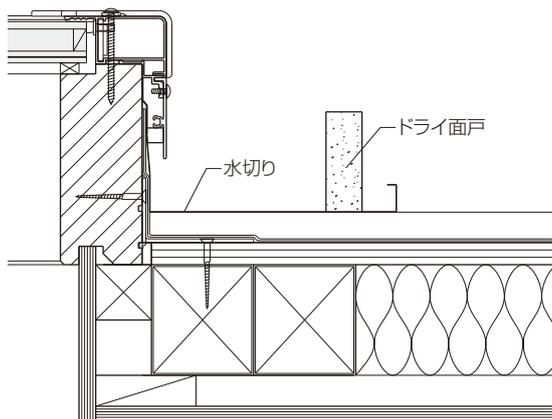
※ドライ面戸は、瓦とのすき間に合わせて高さを切り、垂直に立ち上がっている側を天窓本体側にして張付けてください。

※J部は縦通しで、すき間のないようにしてください。

※左右縦側のドライ面戸はエプロン軒側端部まで通しで張付けてください。

■参考納まり図

【横断面図】



左右縦側のドライ面戸はエプロン軒側端部まで通しで張付けてください。

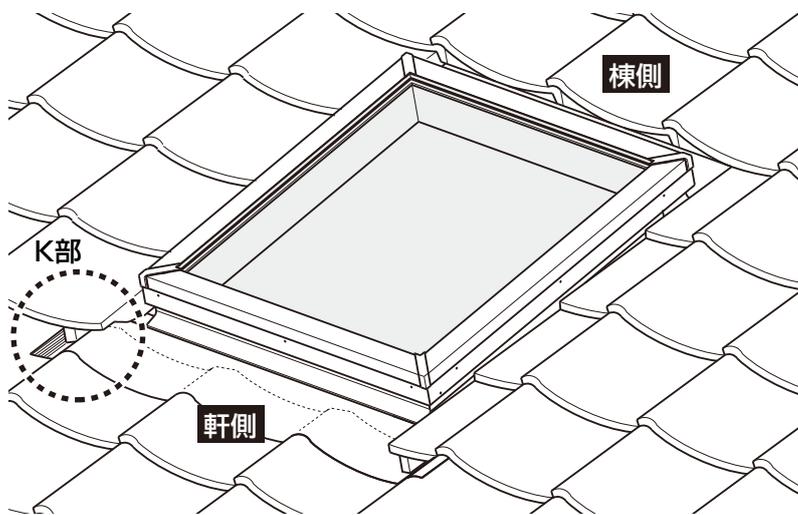
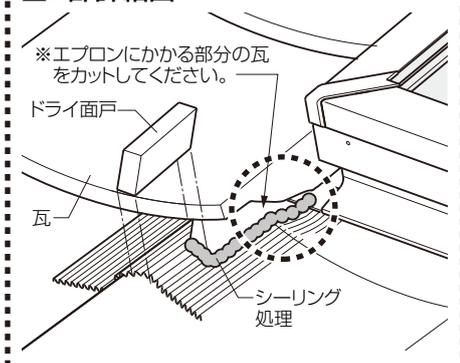
8 瓦の施工

①瓦をふきます。

②ドライ面戸の余った部分は切りとってください。

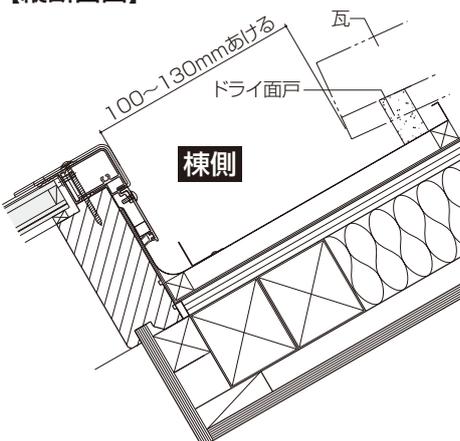
③エプロンとドライ面戸のすき間には、シーリング（別途手配）処理してください。

■K部詳細図

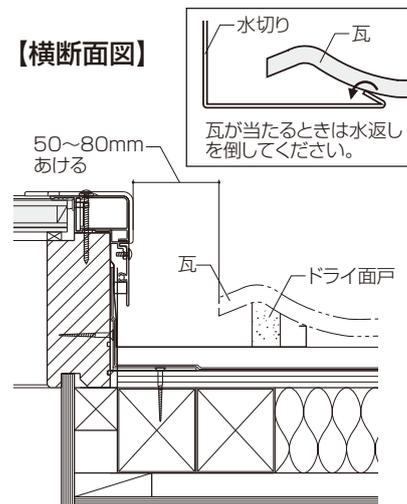


■参考納まり図

【縦断面図】



【横断面図】



▲注意

- 瓦の施工時には、本体と棟側瓦の間を100mm～130mmあけて、本体縦側と瓦の間は、50mm～80mmあけてください。雨漏りの原因となります。
- エプロンとドライ面戸のすき間のシーリングを必ず実施してください。雨漏りの原因となります。

板金屋根工事店さま用

■ルーフィングの張付け

※P8「ルーフィングの張付け」を参照してください。

※棟側のルーフィングに防水テープを張付けてからジャンプ台の製作をおこなってください。

■簡単施工部材の取付け

※簡単施工部材の取付け説明書を参照してください。

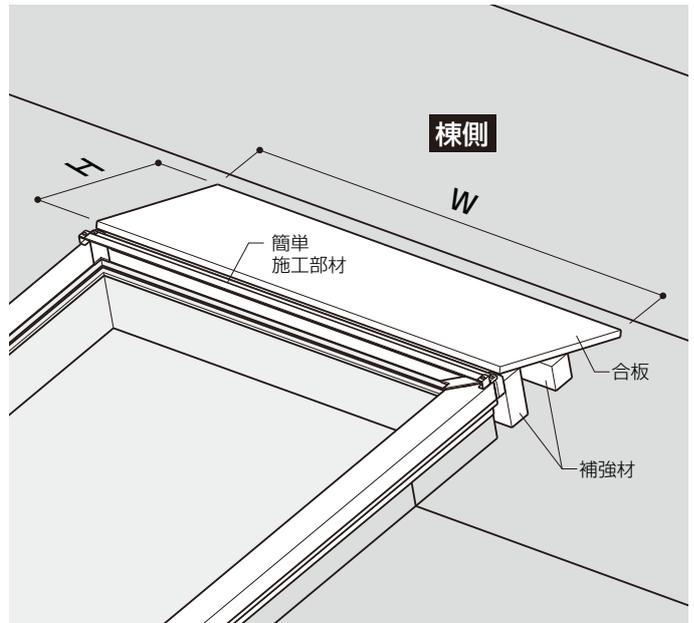
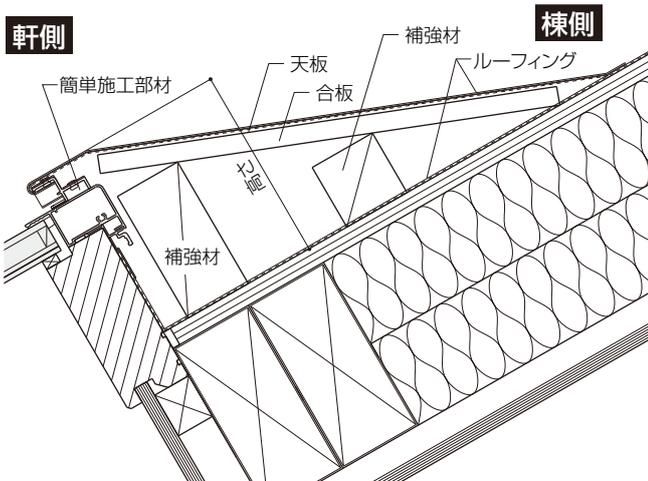
■ジャンプ台および板金屋根の施工

1 ジャンプ台下地の製作

●補強材を取付けて、その上に合板を固定します。

- 高さ…ジャンプ台簡単施工部材とそろえてください。
- 幅…ジャンプ台簡単施工部材の幅に合わせてください。

■参考納まり図

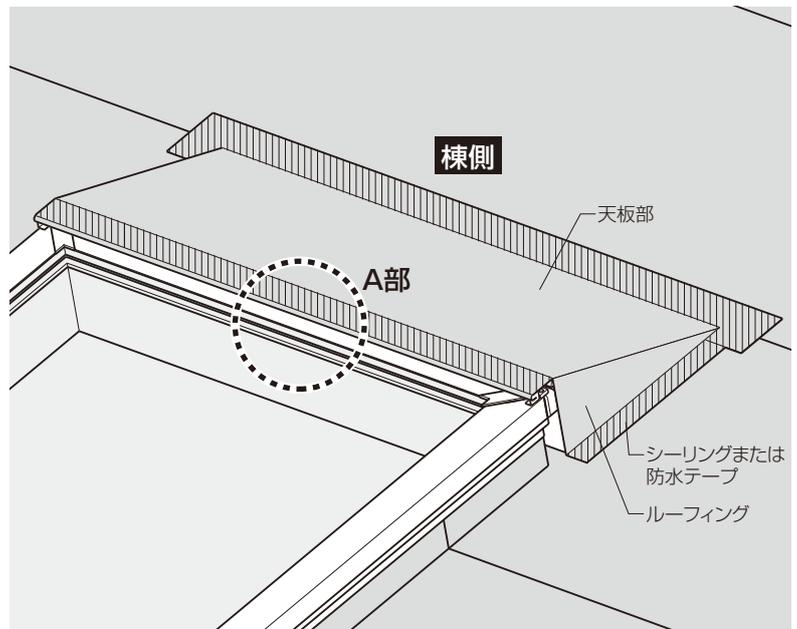
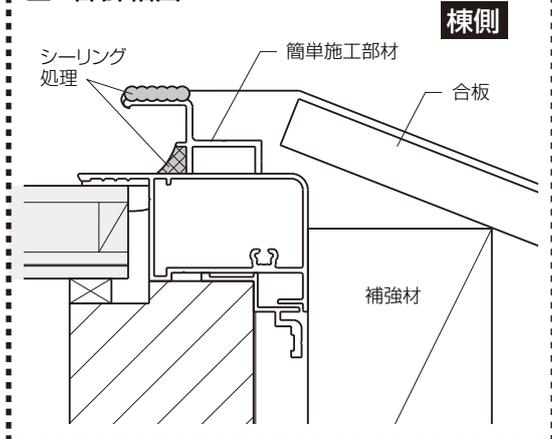


2 天板へのルーフィングの張付け

●天板(ジャンプ台上面)にもルーフィングを張付けてください。

●ルーフィングの重なり部(斜線部)には、シーリング処理または防水テープを張ってください。

■A部詳細図

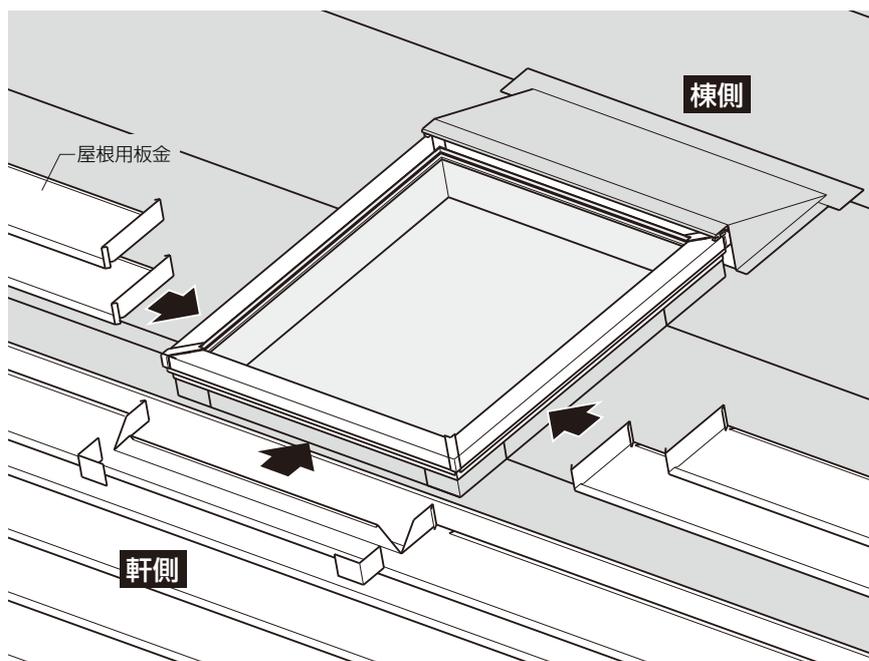


3 屋根用板金の取付け

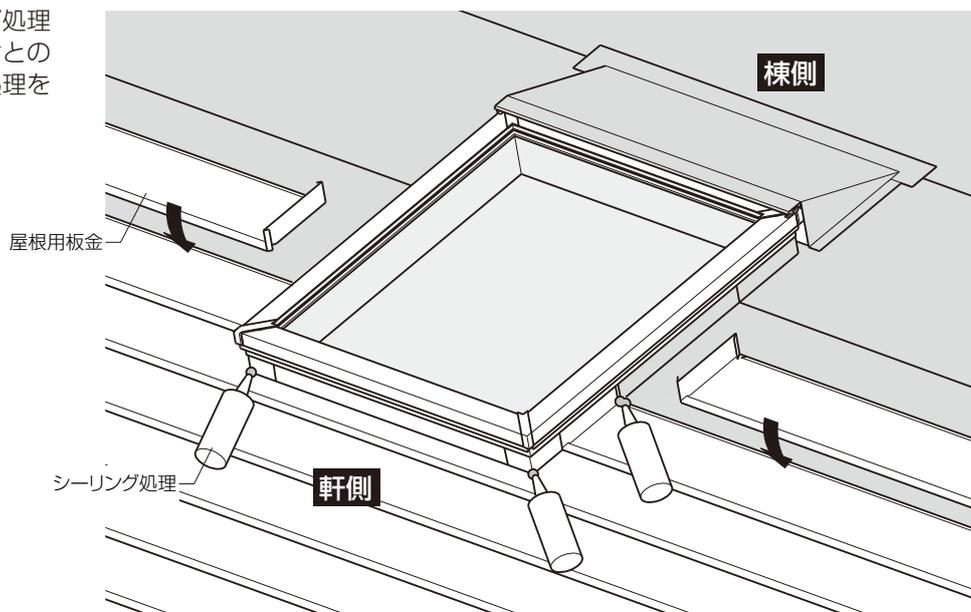
①屋根用板金を図のように切込みまたは折曲げて、下枠よりふき上げます。

※屋根材に断熱材が付いている場合、「スカイシアター」に接する立上げ部は、断熱材をはがしてください。スカートが取付かなくなる場合があります。

②本体防水テープが10mm程度かぶさるように板金を立上げてください。

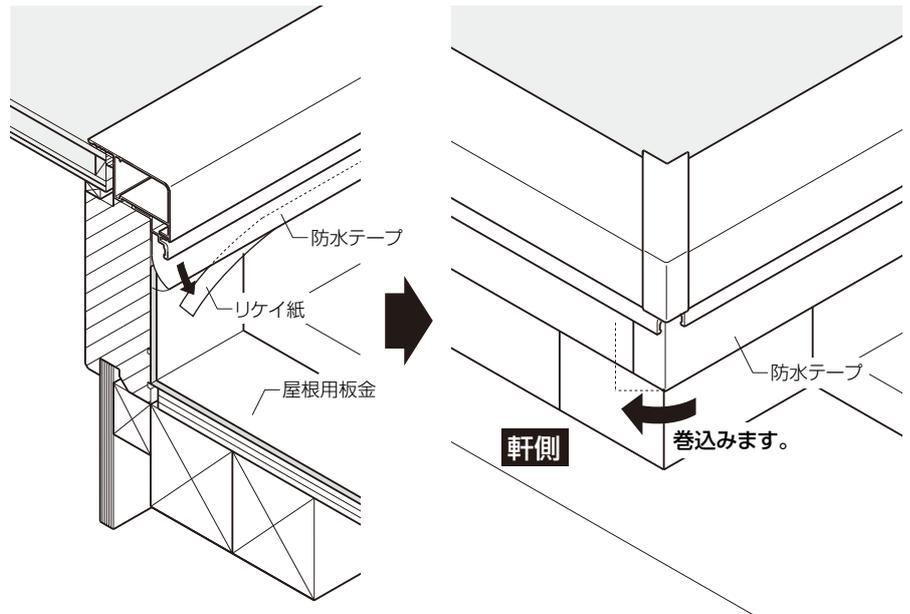


③板金のコーナー部分にシーリング処理をします。また、次に来る屋根材とのかみ合わせ部分にもシーリング処理をしてください。



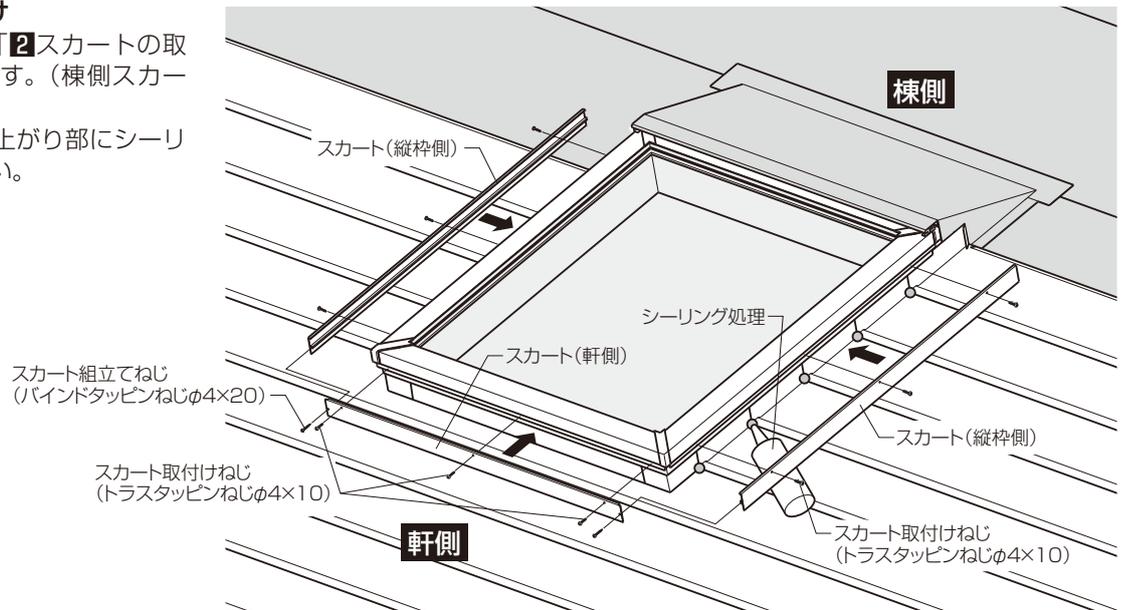
4 防水テープの張付け

- 軒側⇒縦椽側の順に本体防水テープをはがして、板金とすき間のないように張付けます。
縦椽側のみ出しは、軒側に重ねて張ってください。
- ※板金と板金の重ね部は特にすき間のないように防水テープを圧着して張付けてください。



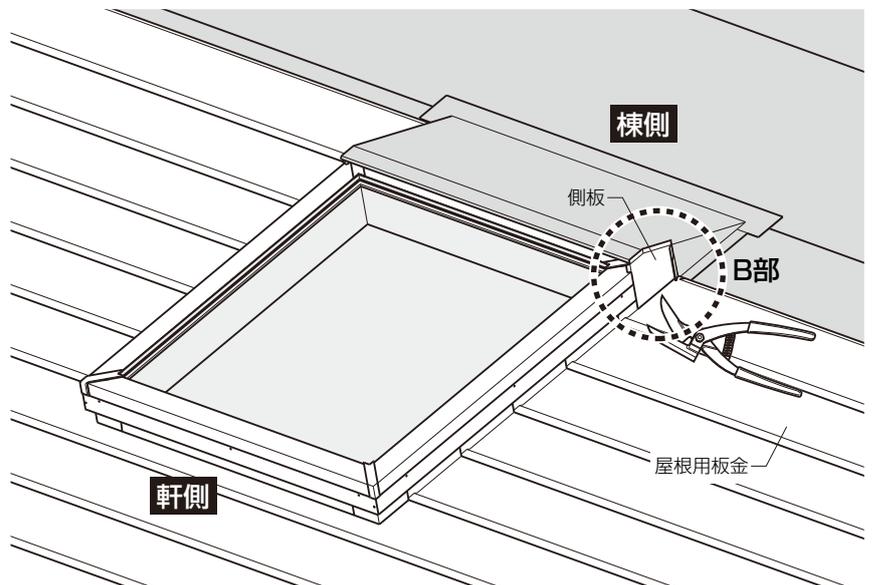
5 スカートの取付け

- ※取付け手順は、P6「2 スカートの取外し」の逆の要領です。(棟側スカートは使用しません。)
- 板金かみ合わせの立上がり部にシーリング処理してください。



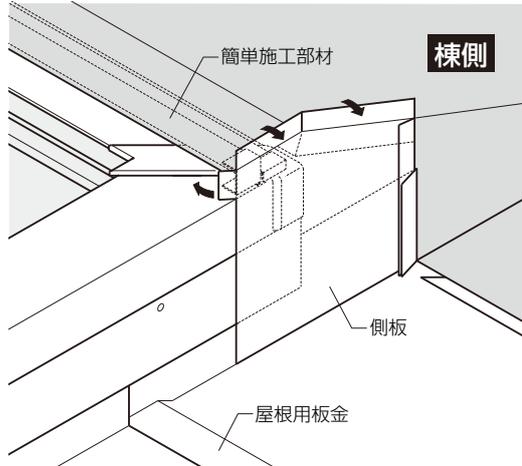
6 側板の取付け

- ①右図のような側板を作り、ジャンプ台側面に取付けます。
- ②ジャンプ台横の板金および簡単施工部材の側板としっかりかみ合わせます。

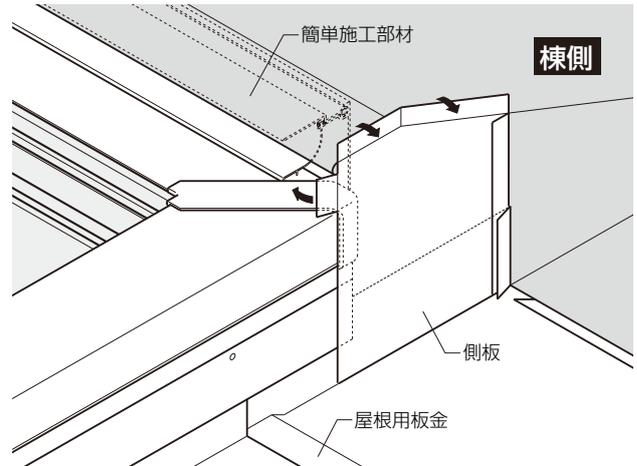


■B部詳細図

【TF型】

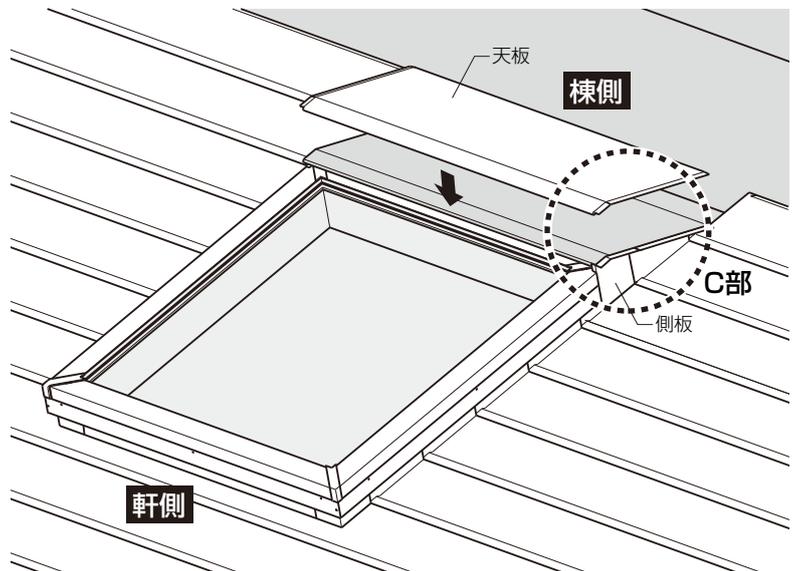


【TT型】

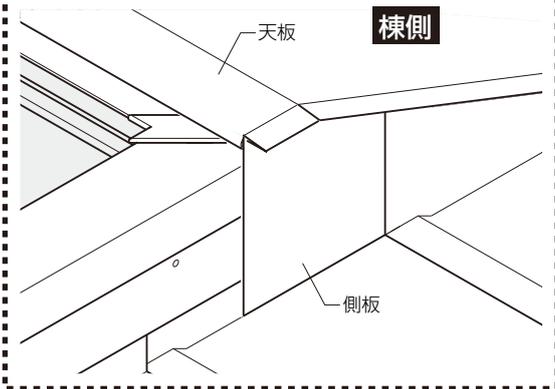


7 天板の取付け

- ジャンプ台の大きさに合わせて加工した天板をかぶせます。
簡単施工部材および板金屋根とをかみ合わせます。



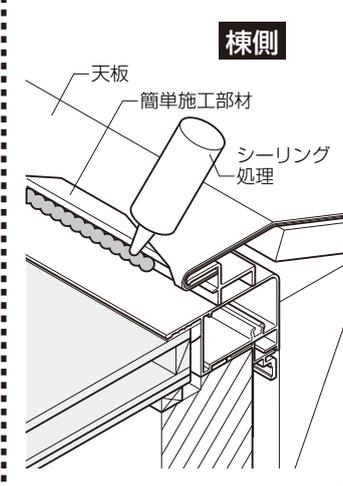
■C部詳細図



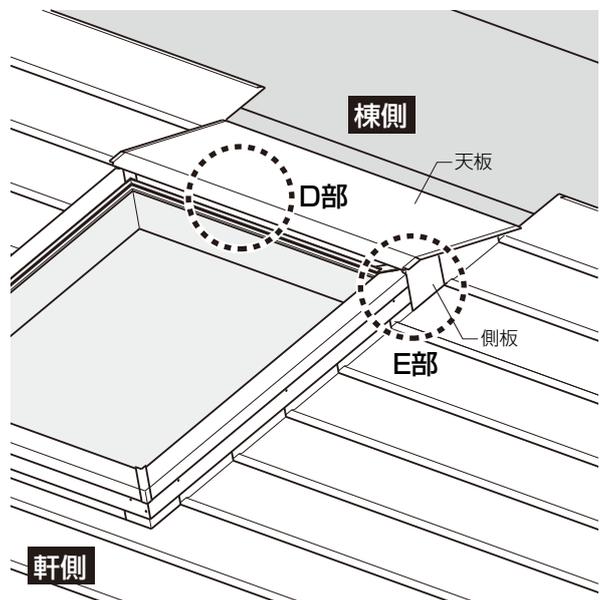
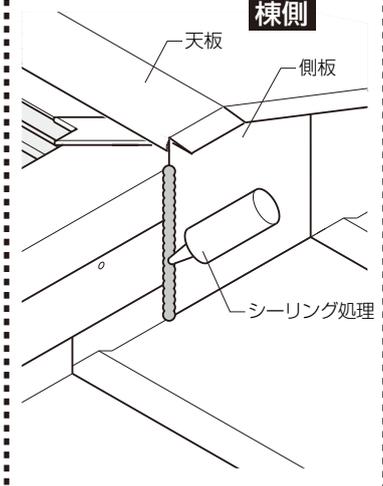
8 TF型のシーリング処理

- 板金を処理した後、ジャンプ台と本体の取合い部をシーリング処理してください。

■D部詳細図



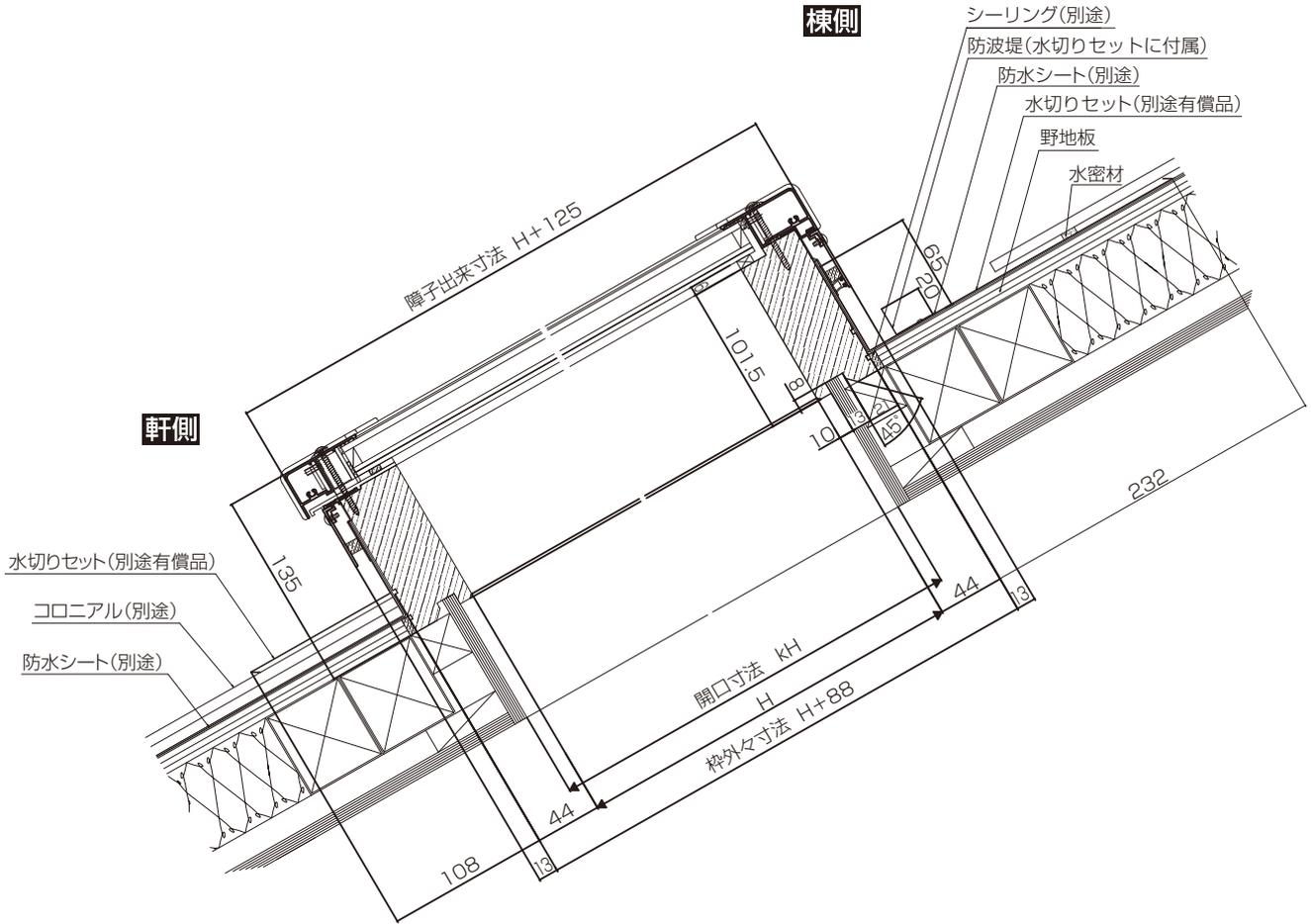
■E部詳細図



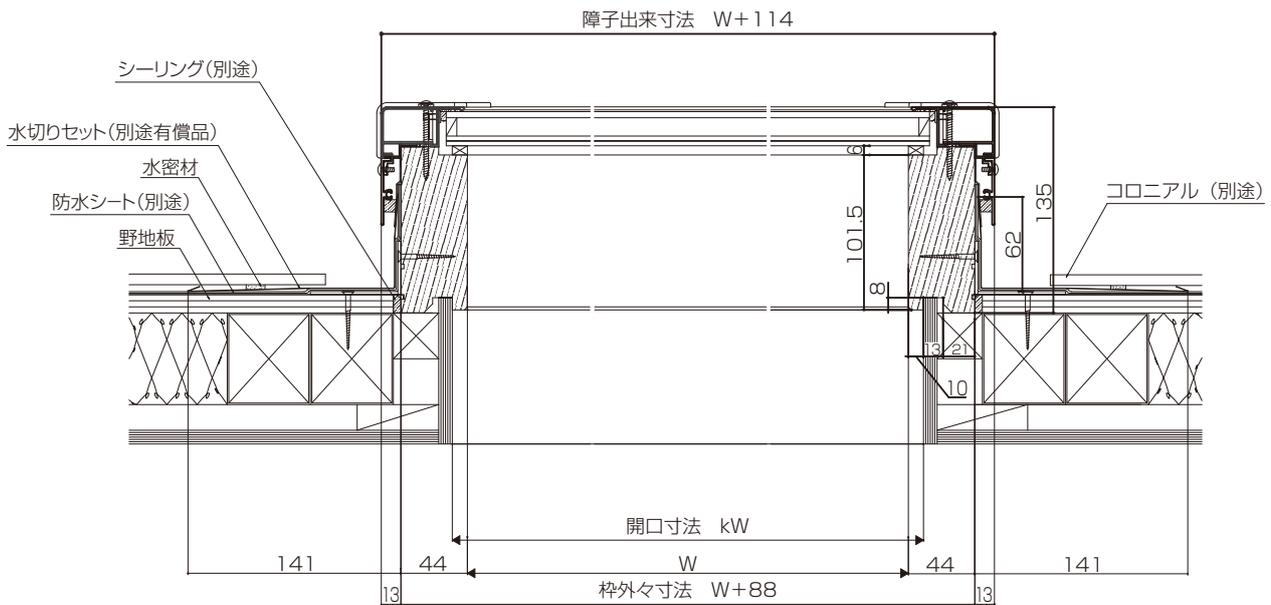
納まり図

■TF型(FIX) コロニアル 納まり図

■縦断面図

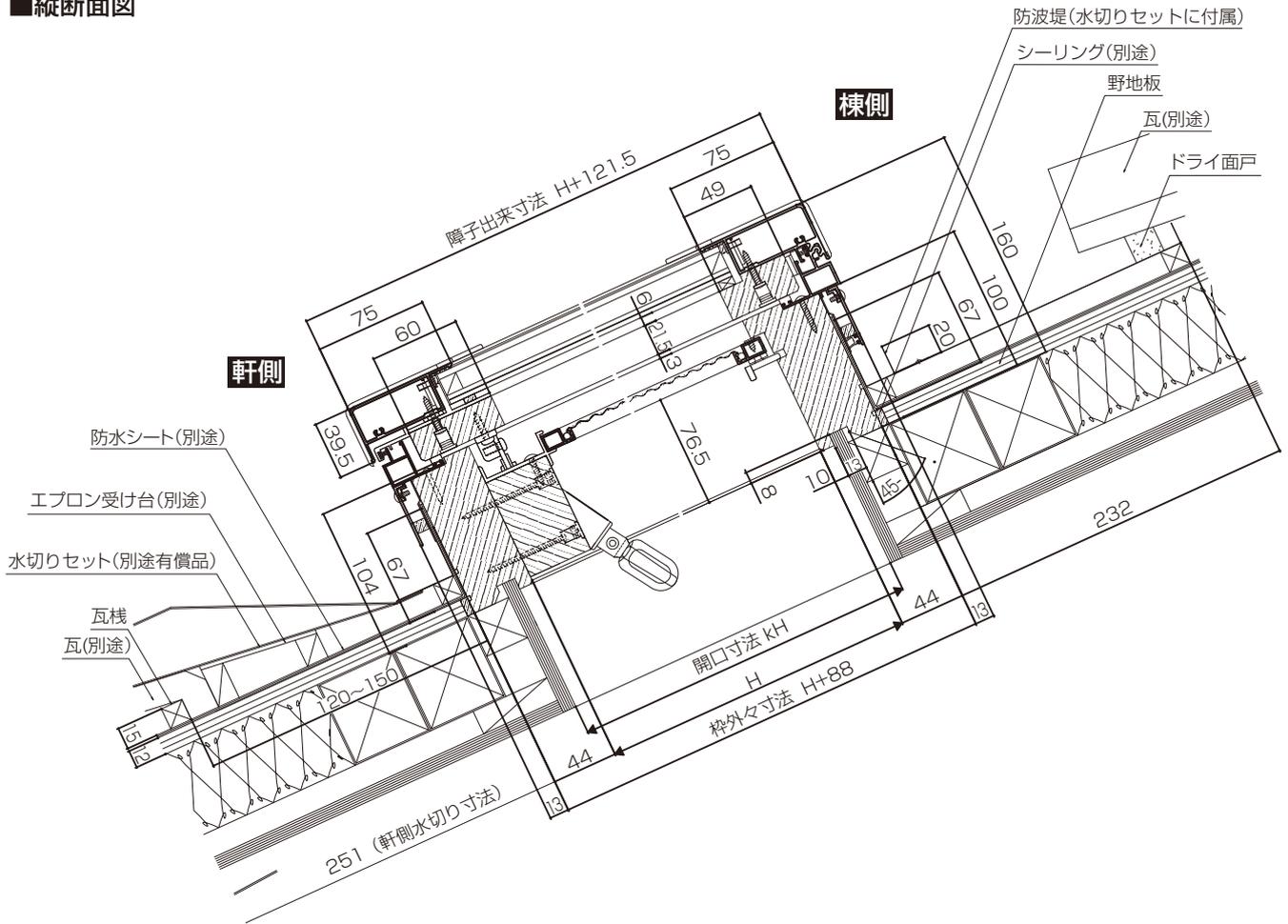


■横断面図

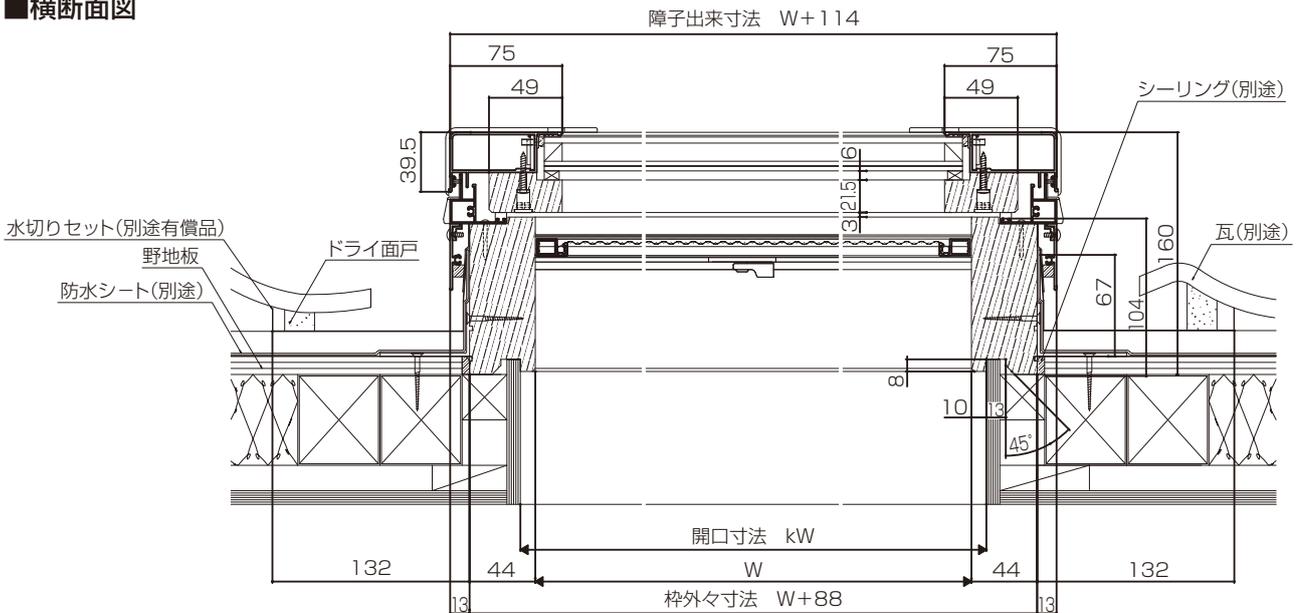


■TT手動型(チルト開閉) 瓦納まり図

■縦断面図



■横断面図



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

取説番号	MAL-48F	事業所コード	AW87	2018.06.01 発行
------	---------	--------	------	---------------

